

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年10月31日更新

事務事業名		家庭教育学級開催事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	辻 健一
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	生涯学習課	担当者名	中原 未友紀
	基本事業	58	地域における子育て支援			所属班	生涯学習班	(内線)	1515
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 3	事業連番 10662	法令根拠	成果優先度評価結果	⑦
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	保護者主体の学級を作ってもらい、子どもの躰などを学んでもらう。年間計画をたてて委託料25,000円で活動し、その中で保護者同士のつながりを持ってもらいさらには地域の交流へと発展させていく事業である
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	各学級から学級開設申請書(年間計画書、名簿)を提出後、委託決定通知と契約書を交付する。その後、委託料を振込み、各学級で計画書のとおり学級運営。学級終了後に、学級日誌及び収支報告書を提出。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	委託料が少ないため、学級運営費を各学級で補ってもらっている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	市内幼・保育園の保護者計17園の保護者会と市内小中学校計10校のPTAへ委託料25,000円で家庭教育学級の委託を行なった。	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		すべての園、学校に対し、委託を呼びかける。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)回	予算の主な増減の理由
→ア:学級活動開催回数	→イ:	保育園が1園増園するため
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市内全ての幼・保育園の保護者と小中学校の保護者。	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位)人
		→ア:市内の子どもの数(15歳以下)
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	家庭教育学級で学習することで、子どもを育てるために必要な力をつけてもらう。また、保護者同士で学習することで、親睦が深まる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位)人
		→ア:保護者の参加者数
		→イ:
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込	
①	活動指標	ア 回	157	152	190	192	190	190	190	190	
		イ:									
②	対象指標	ア 人	10,424	10,162	11,000	10,993	11,500	12,000	12,500	13,000	
		イ:									
③	成果指標	ア 人	12,611	12,382	14,000	14,225	15,000	15,000	15,000	15,000	
		イ:									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円	316							
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	409	750	775	775	775	775	775	775
		(A)事業費計	千円	725	750	775	775	775	775	775	775
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	161	284	162	199	162	162	162	162
トータルコスト(A)+(B)	千円	886	1,034	937	974	937	937	937	937		

事務事業名	家庭教育学級開催事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部（SEE）

\*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 今年度は、呼びかけにより全部の学級が開講出来た。これからも事業の説明を学級へ働きかけていく。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 各学級の人数が違うため、学級回数の違いなどで家庭教育の浸透に差が出てくる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 幼稚園・保育園への補助金や、小・中学校への補助金に家庭教育振興を盛り込んでもらう。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 1学級の委託料が減額で25,000円になり、これ以上の減額は難しい。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 家庭教育学級は、委託事業のため、正職員の関与も最小限になっているため、これ以上の削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 学級生の人数が違うが、委託料の額が同じであるため、学級生の多い学級には、学習効果が保てる委託料の交付が必要である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

合併時より学級数も増え、学習内容も充実してきている。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					